

青森県経済統計報告

平成14年11月7日
企画振興部統計情報課

1 青森県の推計人口（平成14年10月1日現在）

県人口	1,467,788人	（対前月 259人減少、対前年同月 4,845人減少）
自然動態	14人減少	（出生者数 1,046人、死亡者数 1,060人）
社会動態	245人減少	（転入者数 3,401人、転出者数 3,646人）

2 本県の経済動向

(1) 経済概況

本県経済の動向をみると、鉱工業生産指数が3ヶ月ぶりに前月を上回り、大型小売店売上高も3ヶ月連続で前年同月比プラスになるなど、生産や消費の一部に改善の動きがみられるものの、雇用情勢では現金給与総額が大きく減少し、有効求人倍率も低水準で推移するなど厳しい状況が続いている。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産 平成14年8月の青森県鉱工業生産指数（平成7年=100）は、季節調整済指数が81.7で、前月比3.0%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前月を上回った。 … 2
- (2-2) 雇用情勢 平成14年8月の現金給与総額（5人以上）は257,137円で、前年同月比5.5%減となった。所定外労働時間（5人以上）は8.1時間で、前年同月比0.6%減となった。9月の有効求人倍率は0.30倍となり、前月より0.02ポイント上昇した。 … 3
- (2-3) 物価 平成14年9月の青森県消費者物価指数は、総合指数で100.3となり、前月比0.1%の下落となり、2ヶ月ぶりで前月を下回った。 … 4
- (2-4) 個人消費 平成14年8月の大型小売店売上高は、179億5,500万円となっており、前年同月比7.8%増となっている。平成14年8月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は、2,924台で前年同月比2.4%減となり、6ヶ月連続して前年を下回った。 … 5
- (2-5) 住宅建設 平成14年8月の新設住宅着工戸数は、933戸で前年同月比17.3%減となっている。 … 6

(3) 景気動向指数（平成14年8月分）

先行指数	77.8%	（4か月連続50%を上回った）
一致指数	77.8%	（2か月ぶりに50%を上回った）
遅行指数	57.1%	（2か月連続50%を上回った）

(4) 青森県景気ウォッチャー調査（平成14年10月期）

3か月前と比べた景気の現状判断DI	35.4	（前期比7.3ポイント減）
3か月後の景気の先行き判断DI	36.7	（前期比9.7ポイント減）

1 青森県の推計人口（平成14年10月1日現在）

【概況】

平成14年10月1日現在の本県推計人口は、1,467,788人で、前月に比べ259人、前年同月と比べると、4,845人の減少となった。

○自然動態

出生者数が1,046人、死亡者数が1,060人で、14人の減少となった。

9月中の統計としては、死亡者数が過去（昭和41年以降。昭和45年は不明の為除く。）最多となり、自然増加数が過去最少となった。

○社会動態

転入者数が3,401人、転出者数が3,646人で、245人の減少となった。

○人口の回復状況

3月中の移動（転出超過等）に対する、4月から10月までの移動（転出超過等）による人口の回復状況は57.9%（前年同月70.0%）となり、平成5年以降の同時期との比較では、最も回復が遅れている。

総人口の推移

(単位：人)

	総数		対前月増減率	増加数	自然増加数	出生者数	死亡者数	社会増加数	転入者数	転出者数	
	男	女									
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	
13.10.1	1,472,633	700,468	772,165	-0.010%	-143	89	1,030	941	-232	3,126	3,358
13.11.1	1,473,066	700,821	772,245	0.029%	433	55	1,233	1,178	378	4,028	3,650
13.12.1	1,473,005	700,794	772,211	-0.004%	-61	-123	1,038	1,161	62	3,251	3,189
14. 1. 1	1,472,950	700,689	772,261	-0.004%	-55	-216	976	1,192	161	3,075	2,914
14. 2. 1	1,472,741	700,550	772,191	-0.014%	-209	-233	1,022	1,255	24	2,987	2,963
14. 3. 1	1,471,961	700,099	771,862	-0.053%	-780	-146	915	1,061	-634	2,802	3,436
14. 4. 1	1,462,050	694,352	767,698	-0.673%	-9,911	-144	997	1,141	-9,767	7,601	17,368
14. 5. 1	1,467,713	697,949	769,764	0.387%	5,663	-28	1,106	1,134	5,691	12,926	7,235
14. 6. 1	1,467,873	698,055	769,818	0.011%	160	11	1,149	1,138	149	3,625	3,476
14. 7. 1	1,467,528	697,874	769,654	-0.024%	-345	-44	967	1,011	-301	2,749	3,050
14. 8. 1	1,467,434	697,787	769,647	-0.006%	-94	47	1,140	1,093	-141	4,036	4,177
14. 9. 1	1,468,047	698,220	769,827	0.042%	613	24	1,082	1,058	589	4,412	3,823
14.10.1	1,467,788	698,013	769,775	-0.018%	-259	-14	1,046	1,060	-245	3,401	3,646

9月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月	平5.9	6.9	7.9	8.9	9.9	10.9	11.9	12.9	13.9	14.9
出生者数	1,222	1,288	1,176	1,210	1,114	1,197	1,107	1,127	1,030	1,046
死亡者数	872	921	877	1,016	922	1,025	1,002	894	941	1,060
自然増加数	350	367	299	194	192	172	105	233	89	-14

3月中の移動（転出超過等）に対する、4月から9月までの移動（転出超過等）による人口の回復状況

年月日	平5.10.1	6.10.1	7.10.1	8.10.1	9.10.1	10.10.1	11.10.1	12.10.1	13.10.1	14.10.1
回復状況	77.9%	94.2%	88.7%	88.0%	76.2%	72.5%	67.7%	72.3%	70.0%	57.9%

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成13年10月1日から平成14年10月1日までの人口は平成12年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増加数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 社会動態の算定には、県間移動数に加え、県内市町村間移動数を含めている。

2 本県の経済動向

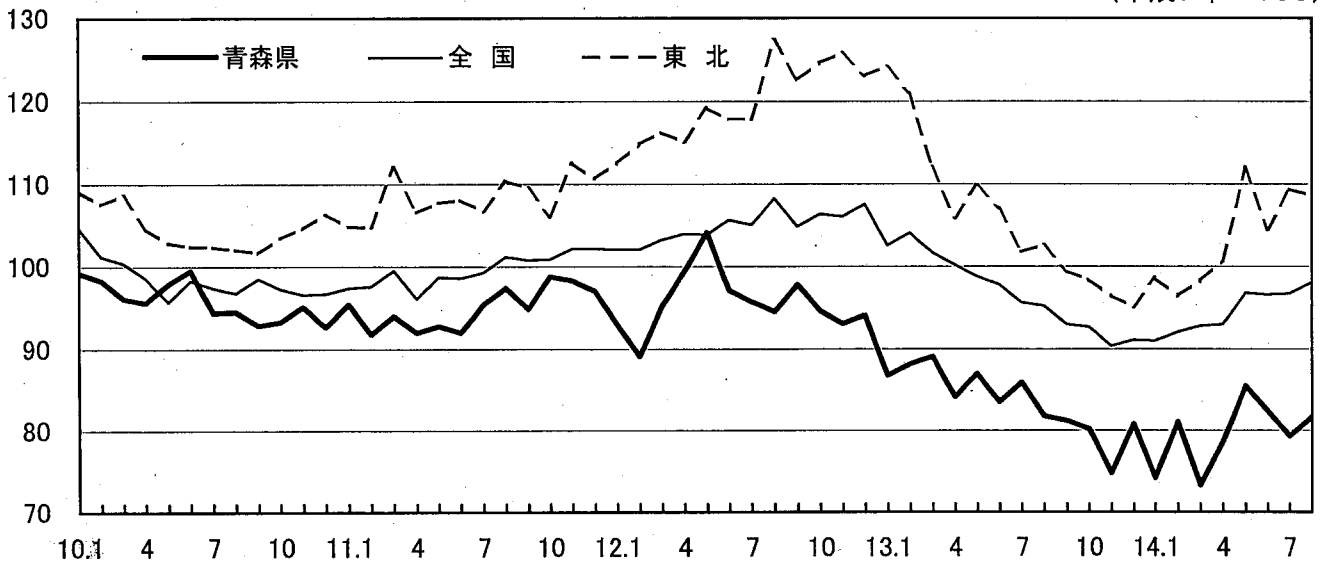
(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

平成14年8月の青森県鉱工業生産指数（平成7年=100）は、季節調整済指数が81.7で、前月比3.0%の上昇となった。また、原指数は79.8で、前年同月比1.6%の低下となった。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、食料品工業、一般機械工業、電気機械工業などが上昇に寄与した一方、金属製品工業、プラスチック製品工業、家具工業などが低下し、鉱工業全体で3.0%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）（平成7年=100）

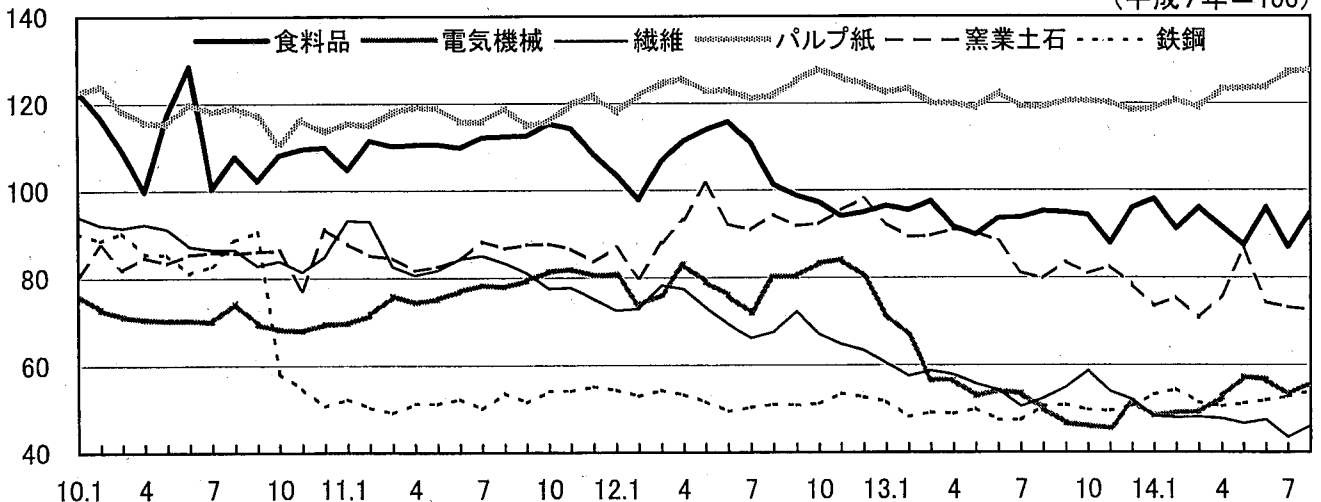


◎業種別動向(前月比)

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
(鉱工業)					
	3.0	100.0			
食料品工業	9.2	54.0	金属製品工業	-16.7	-16.4
一般機械工業	41.1	35.4	プラスチック製品工業	-18.4	-10.4
電気機械工業	5.3	13.2	家具工業	-22.2	-2.4
精密機械工業	21.1	11.3	窯業・土石製品工業	-0.8	-1.0
化学工業	26.3	8.2	鉱業	-2.4	-0.7

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成7年=100)



資料：県統計情報課「鉱工業生産指数月報」

(2-2) 雇用情勢

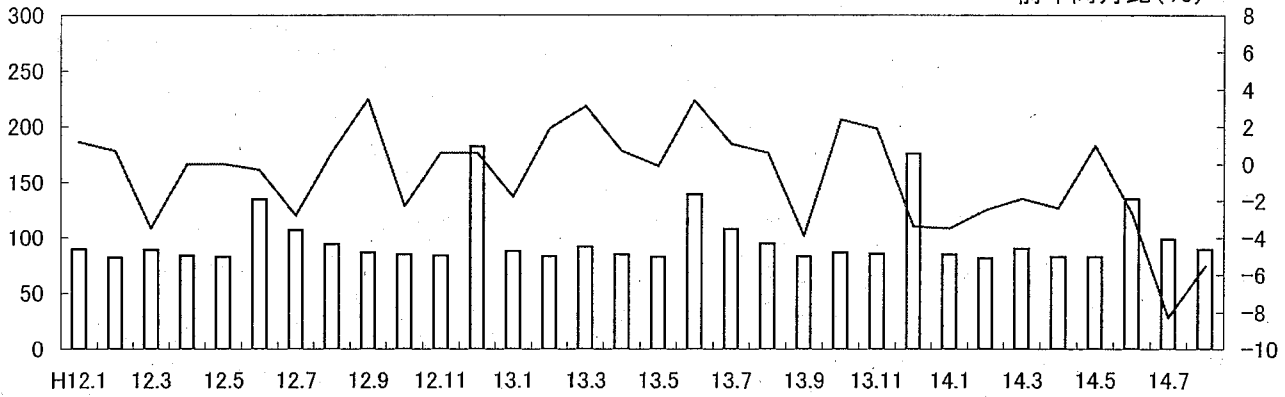
平成14年8月の現金給与総額は257,137円で前年同月比5.5%減となった。

また、定期給与の全国対比は81.9となった。

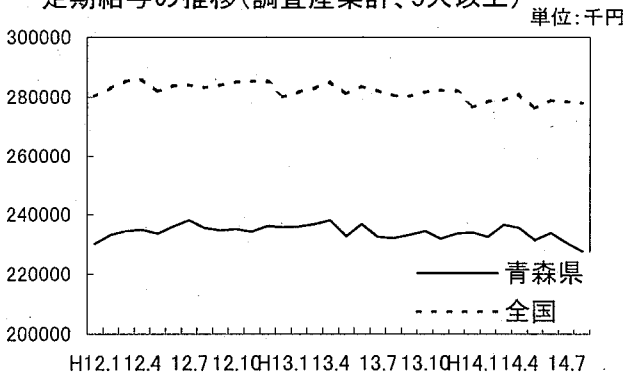
所定外労働時間は8.1時間で、前年同月比0.6%減となった。

9月の有効求人倍率は0.30倍で、前月より0.02ポイント上昇した。

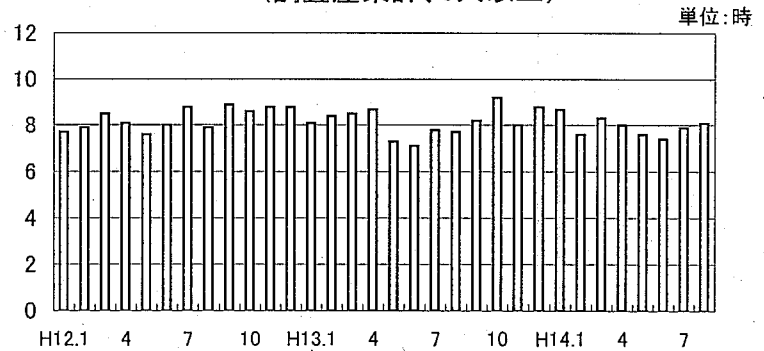
賃金指数の推移(調査産業計、5人以上) □ 現金給与総額指数
— 前年同月比(%)



定期給与の推移(調査産業計、5人以上)



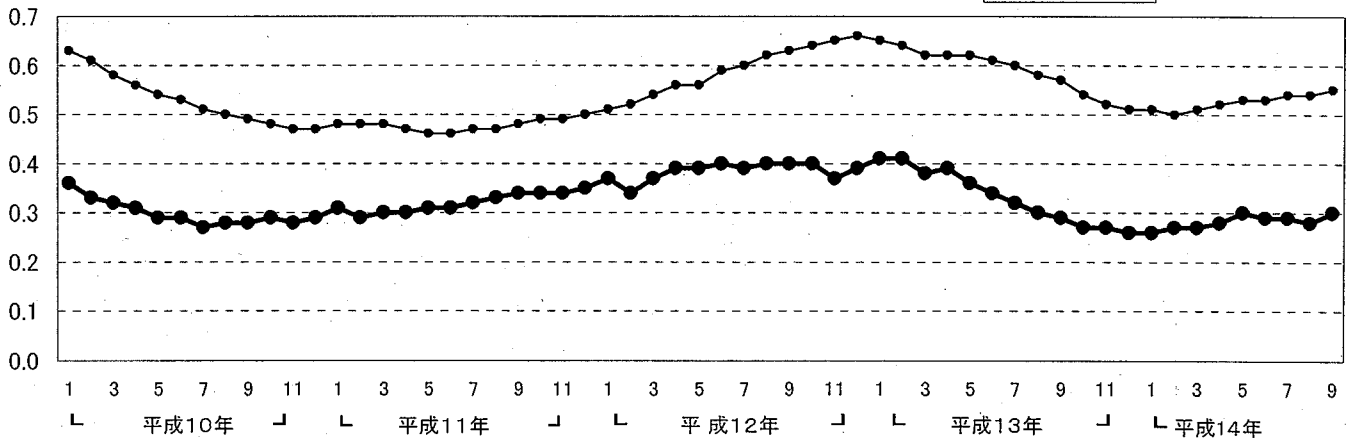
所定外労働時間数
(調査産業計、5人以上)



資料: 県統計情報課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

有効求人倍率(季節調整済値)

● 青森県
● 全国



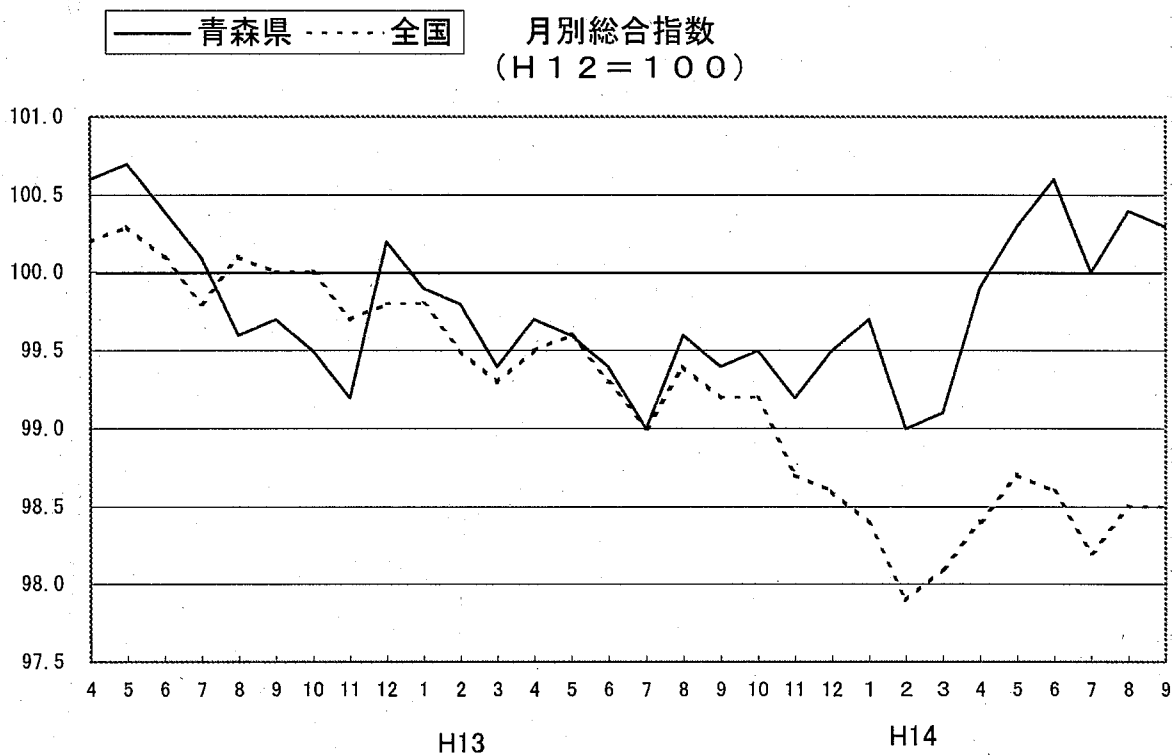
資料: 青森労働局職業安定部職業安定課

(2-3) 物価

平成14年9月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で100.3となり、前月比0.1%下落、前年同月比0.9%上昇した。

前月指数と比較すると、「教養娯楽」は、教養娯楽サービスの外国パック旅行等及び教養娯楽用品の切り花等の値下がり、「食料」は、生鮮野菜及び生鮮魚介の値下がり等によりいずれも下落した。

「被服及び履き物」は、冬物の洋服及び長袖のシャツ・セーター類の値上がり等により上昇した。



10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

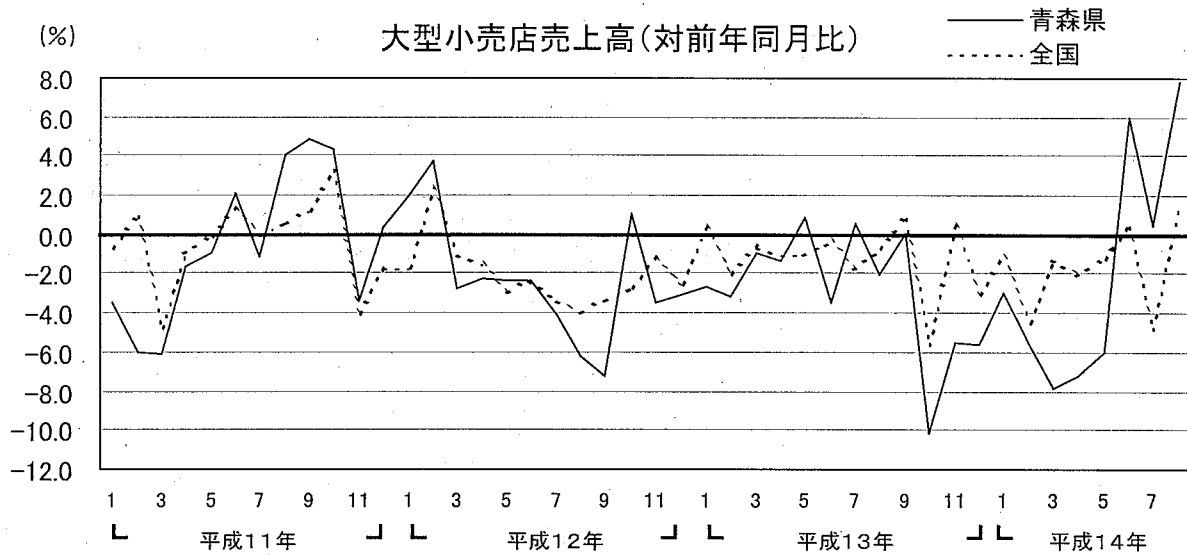
	総合	総合 (持ち家の 家賃を 除く)	総合 (生鮮 食品を 除く)	食料	生鮮食 品	住居	光熱・ 水道	家具 ・家事 用品	被服及 び履 き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養娯 楽	諸雑費
当月指数	100.3	99.0	100.4	101.0	98.0	106.5	97.8	95.1	98.0	102.9	96.6	105.6	93.7	99.7
前月比	▲ 0.1	▲ 0.2	0.2	▲ 0.9	▲ 6.3	0.4	▲ 0.1	▲ 0.2	6.8	▲ 0.1	▲ 0.9	0.0	▲ 1.8	0.0
前年同月比	0.9	0.1	0.8	1.6	2.4	4.4	▲ 3.1	0.6	▲ 1.7	1.7	▲ 1.6	3.8	▲ 1.8	0.1

資料：県統計情報課「青森県消費者物価指数月報」

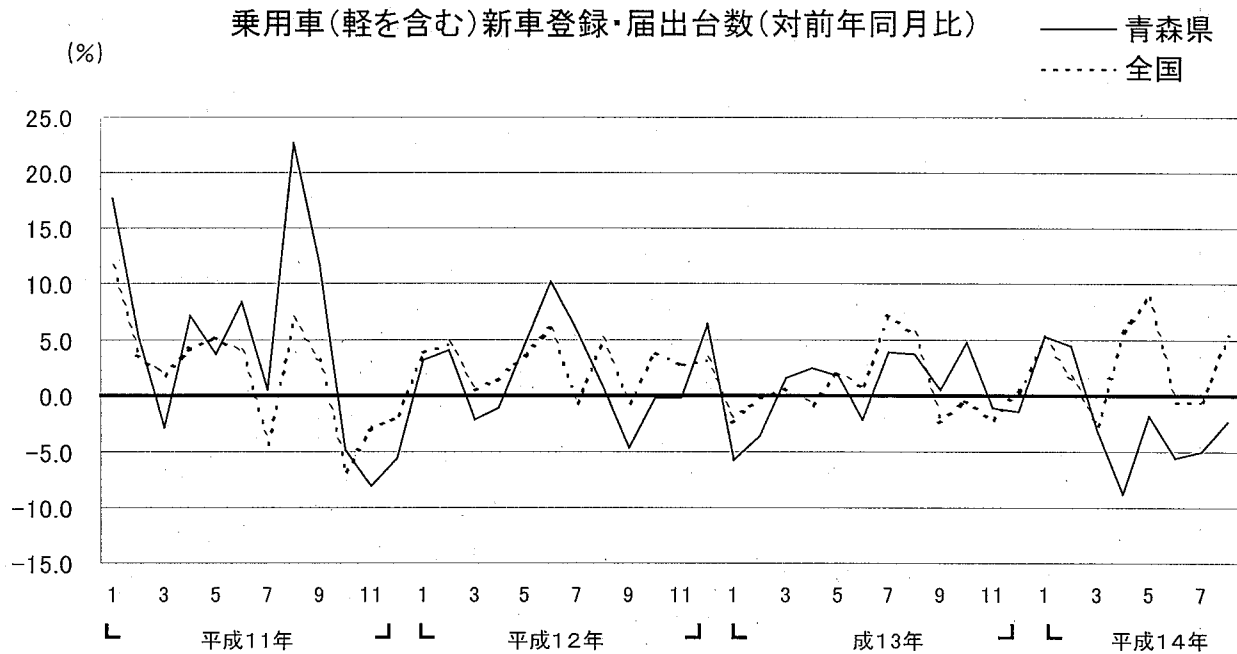
(2-4) 個人消費

平成14年8月の大型小売店売上高は、179億5,500万円となっており、前年同月比7.8%の増となっている。

平成14年8月の軽自動車を含めた自動車新車登録・届出台数は、2,924台で、前年同月比2.4%の減となり、6ヶ月連続して前年を下回った。



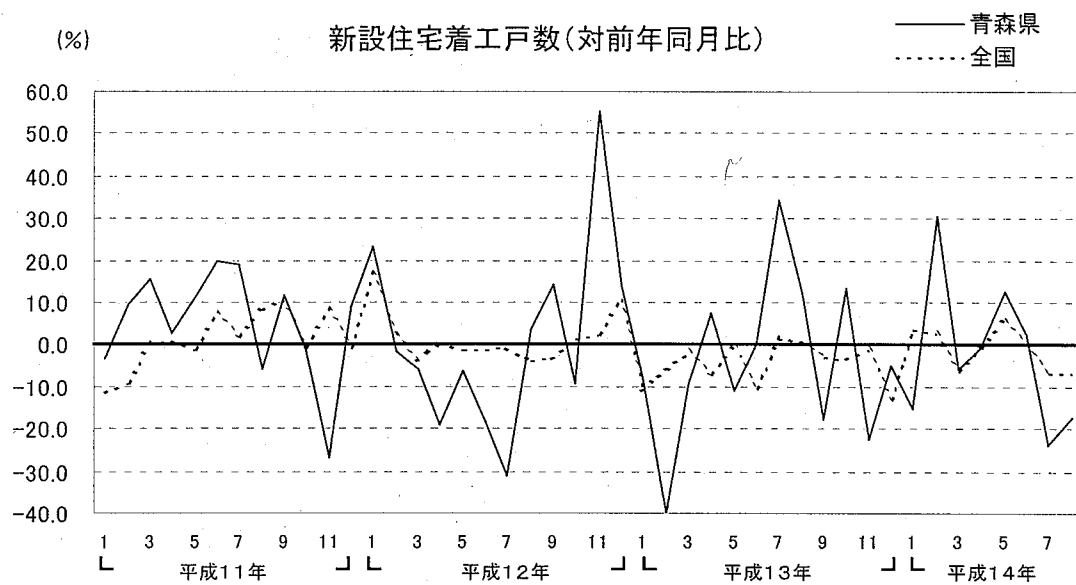
資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、
日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

平成14年8月の県内新設住宅着工戸数は、933戸で、前年同月比17.3%の減となっている。



資料：国土交通省「建設統計月報」

(3) 青森県景気動向指数

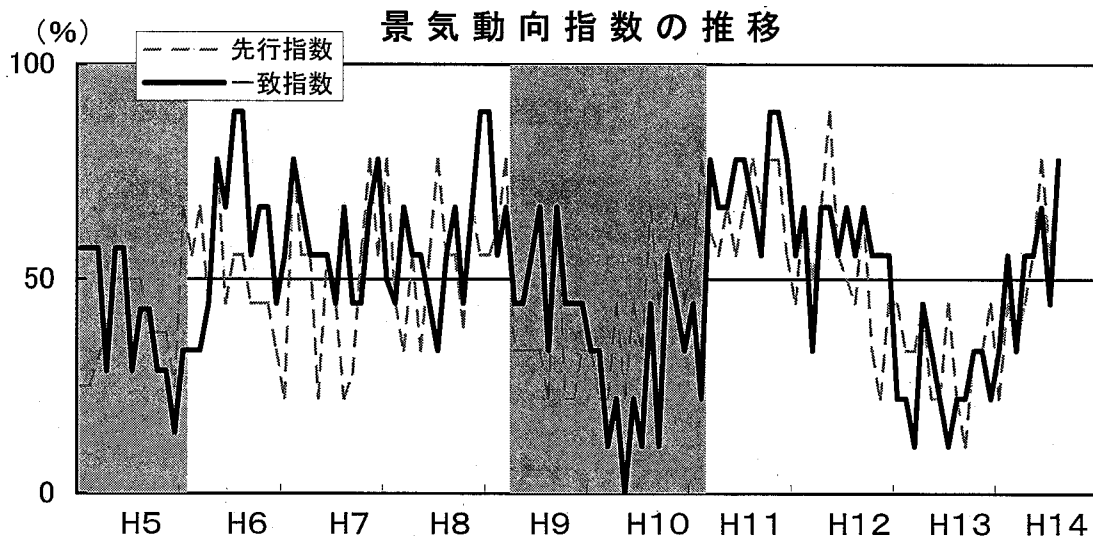
平成14年8月の青森県景気動向指数は、先行指数77.8%、一致指数77.8%、遅行指数57.1%となった。

先行指数は、4か月連続50%を上回った。

一致指数は、2か月ぶりに50%を上回った。

遅行指数は、2か月連続50%を上回った。

8月の一致指数は、生産関連や流通関連などの指標がプラスに転じたことから、50%を上回った。



※灰色部分は本県景気の後退局面

●個別系列の動き

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列 (9指標中7指標がプラス)			
建築着工床面積 (鉱+商+サ)	7か月連続	企業倒産負債額	3か月ぶり
中小企業景況DI	6か月連続	入職率 (製造業)	4か月ぶり
所定外労働時間指数 (全産業)	2か月連続		
生産財生産指数	2か月ぶり		
新規求人数 (常用)	2か月ぶり		
新設住宅着工戸数	2か月ぶり		
乗用車新車登録届出台数	6か月ぶり		
一致系列 (9指標中7指標がプラス)			
電気機械生産指数	7か月連続	日銀券月中発行高	5か月連続
大口電力使用量	5か月連続	雇用保険基本手当初回受給者数	2か月連続
大型小売店販売額 (実質)	4か月連続		
東北自動車道IC利用台数	2か月連続		
鉱工業生産指数	2か月ぶり		
海上貨物出入量 (八戸港)	2か月ぶり		
有効求人数 (常用)	20か月ぶり		
遅行系列 (7指標中4指標がプラス)			
消費者物価指数 (帰属家賃除く総合)	5か月連続	1人平均月間現金給与総額	2か月連続
常用雇用指数 (製造業)	3か月連続	勤労者世帯家計消費支出 (実質)	2か月ぶり
信用保証申込金額	2か月連続	単位労働コスト (製造業)	2か月ぶり
輸入通関実績 (八戸港)	2か月連続		

資料：県統計情報課「青森県景気動向指数月報」

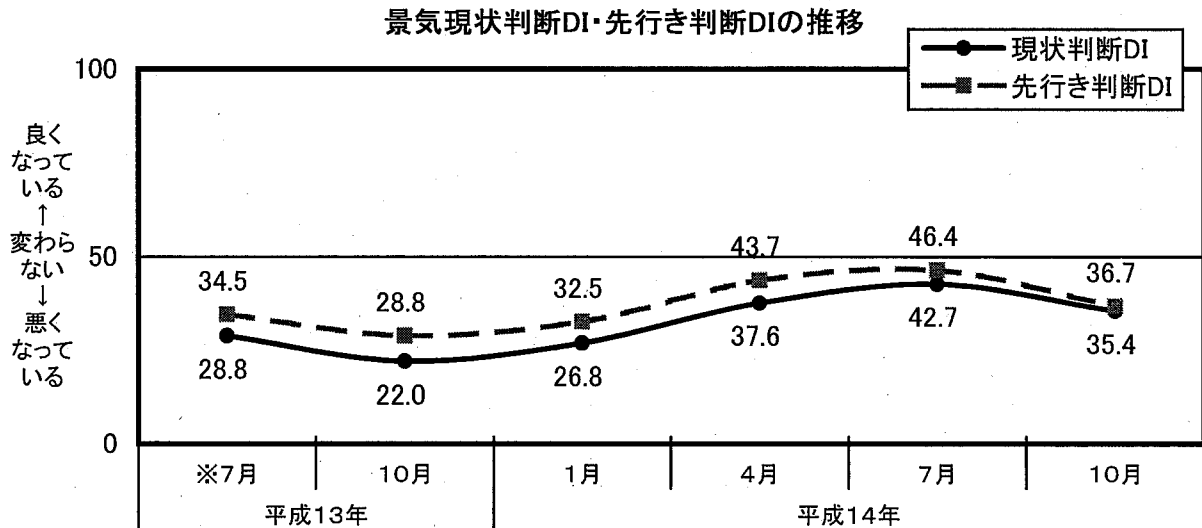
(4) 青森県景気ウォッチャー調査

平成14年10月期の景気ウォッチャー調査は、10月1日～22日を調査期間とし、回答率97%となった。

3ヶ月前と比べた景気の現状判断DIは35.4で、前期調査より7.3ポイント減少した。

3ヵ月後の景気の先行き判断DIは36.7で、前期調査より9.7ポイント減少した。

10月期は、現状判断DI、先行き判断DIとも4期ぶりに悪化し、横ばいを示す50を依然として下回っている。



※平成13年7月は試行調査

● 3ヶ月前と比べた景気の現状判断

動	<p>前期調査と比べると、「やや悪くなっている」と答えた人が増加し、「変わらない」と並んでおよそ4割を占めたことにより、7.3ポイント減の35.4となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、周囲で倒産・閉鎖が増えていることや来客数の減少、値下げ競争による利益の伸び悩みなどが挙げられていた。また、天候不順による秋物商品の売上減や農作物の不振も指摘されている。</p>
向	<p>分野別では、飲食業・サービス業など家計関連が、客単価低下などにより、特に落ち込んだ。地区別では、津軽地区は半数以上の人々が「やや悪くなっている」と回答している。</p>

● 3ヵ月後の景気の先行き判断

動	<p>前期調査と比べると、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」と答えた人の割合がそれぞれ増加し、合わせて4割を超えた（前期は2割強）ことにより、9.7ポイント減の36.7となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、株価の下落や不良債権処理を中心とした金融政策への不安・不信感を挙げる声が多かった。りんご価格の低迷、競争激化による利幅減及び倒産発生、冬の賞与減少による家計への影響なども危惧されている。</p>
向	<p>分野別では、企業関連などが、不良債権処理による影響を特に懸念している。地区別では、東青地区は「変わらない」と回答している人が7割近い。</p>

資料：県統計情報課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

● 3ヶ月前と比べた景気の現状判断理由

- 企業の中で新卒採用を予定したり、人員増加の傾向が見られる。コスト削減＝人員削減ではない、ということに気が始めた企業が増えたように感じる。(人材派遣＝県南)
- お客様はまわりの店舗を買い回りをし、ムダ買いをしなくなっている。(スーパー＝津軽)
- 車の販売台数から見ると、横ばい状態である。新型等の投入があっても、売れ行きはそんなに変わってない。(乗用車販売＝県南)
- 9月は、雨など気温の急変により、夏物・秋物の品揃えが大変でした。売上ダウンの大きな要因でした。(商店街＝東青)
- 売上は若干伸びているが、利益額は昨年同期と変わらない。(食料品製造＝下北)
- ▲ 物件が少ない。又、いままで算入していない業者が新しく算入してきている。(設計事務所＝津軽)
- ▲ レストラン部門はややダウン。忘年会の感触も、安価・縮小傾向。(都市型ホテル＝津軽)
- ▲ 8月は天候も悪く、売上げも伸び悩みが続いたことと、当店は国道沿いにあるが、例年に比べ県外ナンバーの来客も少なく、観光客も少ない様に思う。(コンビニ＝東青)
- × 来客数が前年と比べて減少している。コースの内容も、ランクをおとしてくるケースも多い。(レストラン＝東青)
- × タクシー業界比較的稼働の良いと言われる8～9月(ねぶた、秋の観光)の動きが非常に低迷。10～11月の観光予約皆無に等しい。又、一般の利用も右肩下がりが続いている。(タクシー＝東青)

● 3ヵ月後の景気の先行き判断理由

- 12月の新幹線開通で、一時的にしても、来訪者は増加し、飲食関係を中心にプラス面に動くと思われる。(一般小売店＝県南)
- 単価が下がり、件数をこなしても、売上高、利益が追いつかない。多少の明るさに見えるものの、総体的な状況は変化ないと思う。(旅行代理店＝東青)
- 料飲筋、以前は客単価の低下が問題であったが、最近では客が来ないことが問題となっている様。(飲料品製造＝県南)
- 12月～1月に入ると観光客はゼロに等しく、中小企業のボーナスなど厳しい状況が続くそう、良くなる期待が持てない。(タクシー＝下北)
- 新幹線八戸駅開業に伴う経済効果を期待したいが、津軽で意欲的に商品交流を図るなどの動き少ない。様子見か。JRで人、物が少し動くようだと消費欲につながるかも。(新聞社求人広告＝津軽)
- 10月の予約状況があまりよくないし、直前予約が多くなっているので予測が不明のため。(観光型ホテル・旅館＝東青)
- ▲ バリ島テロ事件や、アメリカのイラク攻撃の進展しだいでは、旅行手控え等の影響が懸念される。(旅行代理店＝県南)
- ▲ 賃金低下、リストラ等、消費者心理が冷えているから。(商店街＝県南)
- ▲ 地方自治体の財政悪化が顕著で、発注増が見込める状況にない。また、金融機関の不良債権処理加速の、民間発注への影響と業界に及ぼす影響が心配される。(建設＝県南)
- × 周辺事業所の閉鎖が目立つことから、周辺購買人口の減少がある。そのことによって、全体としては、消費支出、可処分所得の減少につながる事が懸念されることと、りんご価格の先行不透明感。(コンビニ＝津軽)

記号の意味:◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、▲やや悪くなっている、×悪くなっている
資料：県統計情報課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」